

ナマズ

(マナマズ、ニホンナマズ)

■泳ぐ胃袋

水路の生き物調査をしている時のこと。水草が茂っている流れの中で、タモ網の中へ魚を足で追い込んでいたら、突然、ずしっと網が重たくなりました。慌てて網を持ち上げてみたら、50センチほどのナマズが入っていました。向こうもビックリしたかもしれませんが、狭い水路での捕獲でしたが、恐らく法勝寺川本流から遡ってきたものと思われま

す。長いヒゲを持つ個性的な淡水魚。子どもの時は6本で大人になると4本のヒゲが生えています。町内でも、たまに橋の上からナマズ釣りをしている方を見かけ、つい先日

も大物がかかったところを引き上げていた様子を見ること

■多種多様な生き物が棲める川へ

が出来ました。ナマズが棲める水辺があることに、とても嬉しく思います。彼らは、口に入る動く生き物であれば何でも食べてしまう大食漢です。今、我が家でも小さなナマズを飼育しています。与えたエビやメダカをあつという間に食べてしまい、まさに泳ぐ胃袋です。

「昔は、ウナギやアユやサケがよお捕れよったでえ。」ご年配の方に、以前の町内の川の様子をうかがうと、皆さんこうおっしゃいます。残念ながら、この10年で私が調べた限りでは、海から戻ってきている川の生き物は、スナヤツメとモクズガニの2種類だけです。現在南部町では、22種類の淡水魚が確認されています。ナマズを始めとする、川魚たちの賑わいがある川を次世代に引き継いでいきたいものです。

■美味!

みなさんはナマズを召し上がったことはありますか? 高タンパクで低カロリー、さっぱりとした白身は油料理とよく合います。私はソテーで頂いたことがあります。天ぷらや蒲焼きもおすすめです。

自然観察指導員 桐原真希



ナマズの赤ちゃん、ヒゲの生えたオタマジャクシのよう

谷川地区にて

(撮影: 桐原真希)



祐生出会の館【緑水湖畔】インフォメーション ■開館時間: 9時~17時 ■休館日: 毎週火曜日



『秘蔵写真で伝える法勝寺電車展』で展示している写真の一枚です。電車最終運行の日、おじいさんは可愛い孫を抱いて記念撮影をしました。この孫は誰でしょうか。



大正から昭和初期の観光ポスター約30点と、旅の案内資料を展示します。
8月3日(土) ~ 10月7日(月)